



鳥取砂のルネッサンス実行委員会

<https://www.suna-r.com/>



2023

鳥取砂のルネッサンス

報告書



砂のルネッサンス2023年の活動を終えて

鳥取 砂のルネッサンス実行委員会 委員長 遠藤 理恵

砂像文化の醸成と砂の魅力の可能性を広げることを目的として、熱意ある市民が中心となって立ち上げた鳥取砂のルネッサンス実行委員会の活動は、今期で7年目の取組みとなりました。今年もコロナも明け、観光客の増加が期待される中で、「鳥取砂丘」という場所にこだわり「砂像」と「砂あそび」という2つのコンテンツを別会場にて実行し、関係各所と連携を図りながら市民とともに県内外者に発信するという挑戦を行いました。

本年度は、鳥取砂丘山陰海岸国立公園指定60周年、ビジターセンター5周年、フィールドハウスのオープンが重なり、花井健太氏プロデュースのもとかつて砂のまちの中心であった鳥取城を砂で再現し、訪れる県内外者に鳥取の砂の魅力を伝えました。

このメイン砂像制作は2017年当初から続き、これまで多くの県内外者を魅了してきましたが、制作段階から完成までを訪れる方々に見ていただきながら、時には対話し、砂像がどのように創られているのか、鳥取の砂がどれだけ素晴らしい資源であるのかを伝えていくことが私たちが当初から大切にしているスタイルです。また昨年度に続き、市民の皆様と協同で砂像を制作し市民の砂像文化への関心が高まってきております。「砂のまち鳥取」を全国に向けて発信し、観光資源としての価値をより高めていくために、市民が砂の新

たな価値に触れる機会をこれまで以上に増やし、ふるさとへの誇りや自身のアイデンティティを築いていくことでさらなるまちの発展を目指してまいります。

そして、本年度も引き続き笠間浩幸先生とポーネルド社をはじめ多くの外部協力者にご協力いただき、地域の幼稚園・保育園と連携して砂場教育の体験会を「すなばようちえん」として複数回開催することが出来ました。多くの園児や先生方に鳥取の砂のすばらしさ、砂あそびや砂による造形活動のおもしろさに触れていただき、鳥取の砂への関心を高めることができました。

これからのまちの未来を担う子どもたちが自身の道をしっかりと切り拓き、希望や夢を持ちしっかりと歩んでいけるよう、そんな「生きる力」や「無限の可能性」を鳥取だからこそできるこの砂遊びで幼稚園・保育園の先生方とともに大切に育んでまいりたいと思います。

最後となりましたが、公私ともにお忙しい中、全力で活動にご協力いただきました実行委員会内外の関係者の皆様へ心より感謝を申し上げます。来年度は更なる鳥取の砂の魅力をより多くの人へ伝え、砂像彫刻と砂の文化を築いていくことお約束いたして、私からのあいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。

これまでの歩み HISTORY

- 2017 実行委員会発足 鳥取砂のルネッサンス2017開催**
●シンボル砂像制作 ●砂像選手権 ●砂のワークショップ
- 2018 鳥取砂のルネッサンス2018開催**
●シンボル砂像制作 ●砂のワークショップ
●学生限定砂像グランプリin鳥取 ●鳥取砂丘ビアフェスタ
●中学生砂像選手権 ●砂丘しゃんしゃんフェスタ
- 2019 鳥取砂のルネッサンス2019開催**
●シンボル砂像制作 ●光る泥だんごづくり
●学生限定砂像グランプリin鳥取 ●フードブース
●あそびのすなば (ポーネルド社とのコラボレーション)
幼児教育セミナー/すなばようちえん開催
- 2020 イベント中止**
コロナ復興砂像制作/展示 あそびのすなば2020
●砂遊びの魅力発信 ●インスタグラム小さな砂像選手権
幼児キャラバン
●アンケート調査 ●鳥取県教育委員会との意見交換会
未来のイメージビジョン制作
- 2021 第一回鳥取砂まつり イベント中止**
●シンボル砂像制作/展示
砂像型枠商品開発 砂あそび共育支援
●すなばようちえん ●砂場環境整備
●砂絵 制作・展示 ●砂の先生育成事業
●保育者対象砂場保育研修会
- 2022 第二回鳥取砂まつり開催**
●シンボル砂像&砂絵 制作/展示
●あそびのすなば
●ホワイトサンド
砂あそび共育支援
●すなばようちえん
●保育者対象砂場保育研修会
●砂の先生育成事業(中止)
- 2023 第三回鳥取砂まつり開催**
●シンボル砂像制作/展示 ●ミニ砂像製作体験
●あそびのすなば ・ビーチテニス ・フットゴルフ ・ドローン体験 ・砂絵体験
砂あそび共育支援
●すなばようちえん ●鳥取市幼児保育課職員自然研修(鳥取市共催)



監修

同志社女子大学 現代社会学部
現代こども学科教授
笠間 浩幸 氏



砂場と子どもについて
30年以上研究。(砂場)
と子どもなど著書も多数。

外部協力

(株)ポーネルド
遊環境事業部 **永山 隆太 氏**

TOTTORI SAND'S RENAISSANCE

第三回 鳥取砂まつり in 鳥取砂丘 シンボル砂像 & ミニ砂像製作体験

シンボル砂像

2023年は鳥取砂丘山陰海岸国立公園指定60周年、ビジターセンター5周年、フィールドハウスオープンが重なるメモリアルイヤー。「砂のまち鳥取」推進のこれら全てを記念するための砂像として、かつて砂のまちの中心であった鳥取城を鳥取砂丘につくりあげた。



2023年8月21日(月)～9月1日(金)

会場：鳥取砂丘ビジターセンターつどの広場

制作：花井健太
共同制作／與奏一(漆作家)

協力：鳥取砂丘ビジターセンター
砂の美術館

展示期間：9月2日(土)～10月1日(日)

ディレクションおよび制作

花井 健太氏 kenta hanai

【経歴】

1985年 生まれ 千葉県柏市出身
2011年 東京藝術大学大学院 研究科彫刻専攻修了
2014年 重要無形文化財「小石原焼」保持者 福島善三氏に師事
2017年 鳥取県鳥取市河原町にて「花輪窯(かりんがま)」開業

市民チームによるミニ砂像製作

はじめての取り組みとして、90cm角のミニ砂像をはじめから最後まで参加者で彫ってもらった砂像製作体験を実施。体験希望者は事前に応募し、5組の応募があった。(内3組は都合によりキャンセル)

2023年9月1日(土)

制作：事前予約した体験希望者2組

講師：花井健太

展示期間：9月2日(土)～10月1日(日)

砂像テーマ
鳥取名物



所見

鳥取砂丘ビジターセンターの協力のもと、観光客で賑わう砂丘の入り口にあたる場所で砂像の公開製作、展示を実施。県外からの観光客をはじめ多くの方の目に触れることができた。公開製作では話しかけられることも多く、過程を見せることで砂像への関心を高めることが可能だと感じた。砂で作成したのは、かつて鳥取のまちの中心であった鳥取城。鳥取城跡では城郭の復元の取り組みも進む中、「復活鳥取城」の文字も刻み、これからの砂のまちへ想いをこめた。

新たな取り組みとして、市民への砂像製作体験を提供。最初から最後まで小さな砂像を仕上げてもらった。鳥取名物を砂で作成。事前申し込みでは5組の応募があり、少なからず需要はあることが分かり、また参加者は皆が充実した体験となったようで、自分で仕上げる製作体験に意味があると感じられる。「多くの市民が砂像を彫る」というカタチができるよう、そして折角のこの取り組みを県内外へ知ってもらえるようしっかりと情報発信を行いながら続けていきたい。

あそびのすなば



あそびのすなば

2023年9/2(土)3(日)

会場：鳥取砂丘フィールドハウス
 時間：10:00~17:00
 料金：3歳以上のお子様 1名,1,000円

来場人数 約1,000人(2日間)

- 巨大すなば
約20m×20m 株式会社ポーネルドの協力のもと、たくさんの遊び道具、あそびのスペシャリスト「プレイリーダー」との遊びを提供。
- ビーチテニス体験
ボールをバウンドさせないテニス。公式インストラクターのレクチャー。
- フットゴルフ
フットボール+ゴルフ。ボールを蹴ってホールに入れる遊び。ガイナレ鳥取協力。
- ドローン体験
株式会社skyer協力のもと、20分間のドローン操作体験。
- 砂絵体験
砂をのせて絵を完成させる砂絵体験。

その他の企画

- LINEアンケート LINEアカウントの友だち登録からアンケート回答で遊び道具をプレゼント。
- その他 会場には、砂絵で出来た看板を設置。かき氷や風船のプレゼント。ソフトドリンクや軽食販売も実施。
- 宣伝告知 市内幼稚園/保育園へのフライヤー配布 web/Instagram広告

アンケート結果

回答 75件(任意回答) 景品プレゼントあり

- Q1 参加人数(大人も子ども合わせて)
2名(20件) 3名(27件) 4名(24件) 5名(4件)
- Q2 お住まい
鳥取県東部(65件) 鳥取県中部(2件) 鳥取県西部(2件) 県外(6件)
- Q3 保護者年代
10代(2件) 20代(1件) 30代(48件) 40代(22件) 50代(2件)
- Q4 イベントを知ったきっかけ
SNS/WEB広告(36件) フライヤー(25件)
公式SNS/メンバー SNS(3件) 知り合いから(12件) その他(3)
- Q5 お子様の年齢
0歳(2件) 1歳(7件) 2歳(16件) 3歳(16件) 4歳(25件)
5歳(23件) 6歳(14件) 7歳(12件) 8歳(5件) 9歳(4件)
- Q6 満足度
大変満足(47件) 満足(28件) やや不満(0件) 不満(0件)
- Q7 入場料について
高い(19件) 妥当(52件) 安い(4件)



所見

前回とは会場を変えて、鳥取砂丘西側での実施。子ども達は砂で思い思いに遊び、多くの笑顔が見られた。すなばではプレイリーダーが親も巻き込んだ遊びなどを促したり、テニスやフットゴルフなど大人でも楽しめるコンテンツを用意。例年より大人が遊ぶ姿が見られたと感じる。アンケート「なぜこのイベントに参加されようと思ったか?」という質問では、「子どもが砂遊びが好きだから」、「楽しそうだったから」といった声が大半、「過去のイベントに参加して楽しかったから」という声も、「砂丘ならではの」という声もあり、この場所で開催できたことも良かったと感じられる。時期は9月に変更したが猛暑の夏となり、当日も気温が高かったため、強制的に休憩時間を設けて実施した。熱中症の対策としてもドリンク販売などは保護者からありがたかったと意見をいただいた。ただ次回は暑さ/寒さが厳しくない時期での開催、そして年に1回ではなく複数回の開催で参加者や認知度、満足度をさらに広げ鳥取ならではの砂遊びというアクティビティを提供していきたい。



砂あそび共育支援 [すなばようちえん]

ここに住む大人たちで「砂あそび」を通して、
子どもたちの創造性や生きる力を育んでいこう！

「砂あそび共育支援」にける想い

子ども達が大人になった頃いったいどんな時代がやってきているのでしょうか。どんな社会だったとしても、その時代に合わせ変化し、他者と協同しながらでも自らの生涯を生き抜ける子ども達であってほしい。それが私達大人の想いです。砂遊びは、こどもの発達に大きな役割を果たすことがわかっています。また砂遊びを通して人間関係づくりや社会性・思いやりといった成長の姿が見られるのも砂場遊びの魅力のひとつです。「砂」のまち鳥取。この鳥取の「砂」が子ども達を育て、人をまちを豊かにする。そんな未来を描くため、この事業を実施しています。

すなばようちえん

2023年9月7日(木)～11月20日(月)

参加園：鳥取市立千代保育園・浜坂江津クローバー保育園・鳥取市立白ゆり保育園・鳥取市立豊美保育園・鳥取市立すくすく保育園・鳥取市立ひかり保育園・鳥取市立みやこ保育園・千代水クローバー保育園・学校法人修立幼稚園こども園かける・いなば幼稚園・認定こども園鳥取第三幼稚園・認定こども園鳥取第五幼稚園・認定こども園さくら幼稚園

計13園 373名(昨年:13園381名) ※1園雨の為中止

今年により多くの園を受け入れていきたいと考え、1度の受け入れを3園までとし、はじめて他園混合で事業を実施。



参加した先生方の口コミで認知度が高まってきた「すなばようちえん」。はじめは、砂場あそびなら園でも行っているし…と必要性を感じていただいていた園は多かったが、しかし、参加した園の先生方から、「すごく楽しかったよ!」と他園の先生に口コミが広がり、毎年新たに参加していただける園が増えてきた。



実施にあたり

～鳥取砂丘で「すなばようちえん」を実施する意義～

2019年からスタートしたこの「すなばようちえん」これまで鳥取砂丘西側だけでなく、賀露・風紋広場など中心市街地でも行ってきました。普段触れることのない「古砂丘」の砂を特別に使用し、普段園ではできない「造形あそび」ができるのもこのすなばようちえんの特徴です。「古砂丘」の砂には、粘土質が多く含まれ、水を混ぜるだけで固まり子どもたちの砂遊びをより豊かにしてくれます。しかし、掘れど掘れど砂、見渡す限り「砂場」が広がる「鳥取砂丘」には、子どもたちの好奇心を掻きたたせ、1時間半という限られた時間の中、身体全員を使い、創りたいものを友達同士または一人で砂あそびに没頭します。無限の砂があるからこそ、おもいっきり創造でき、子ども達の無限の可能性をどんどん伸ばしていけることが「鳥取砂丘」で行う意義であり、この遊びは鳥取に住む子どもたちだからこその特権であると私たち考えています。

なぜ砂あそびなのか

砂遊びには、子どもたちが大人になるまでに必要な学びの要素がすべて含まれていると言われています。今では、情報が溢れ簡単に答えも知れ、ほしいものが手に入る時代になってきました。子どもたちが大人になるころAIも発達し、今の私たちとはまた違うワーク・ライフスタイルが待っているのかもしれない。しかし、どんな時代が来たとしても、何かを生み出したり、誰かと協同するということは変わらないと考えています。何もない状態から、今までの経験やいろんな知恵やアイデアを持ちより作品を創り上げていく砂遊び。一人では作れないものは、みんなで声をかけあって積み上げていく、そんな経験を重ねることで、子どもたち一人ひとりが持つ力や可能性、そしてどんな時代をも生き抜く力(自らを信じ挑戦していける力)を伸ばしていけると信じ我々はこの活動を続けています。

今後の展望

- 研修会を行い園独自で「すなばようちえん」が開催できるようにしていく
- 鳥取砂丘ビジターセンターと連携し、鳥取砂丘西側での「すなばようちえん」が園独自で行えるよう環境を整えていく
- 砂場あそびのプログラム化を図る

鳥取市幼児保育課職員自然研修(鳥取市共催)

実施日 / 2023年8月4日(金)

場所 : 鳥取砂丘フィールドハウス

14:00~14:40 鳥取砂丘について学ぶ
講師/鳥取砂丘ビジターセンター職員

14:50~15:50 子どもの発達・成長と「砂遊び」について学ぶ
講師/同志社女子大学現代こども学科 笠間浩幸教授

15:55~16:35 笠間教授による「砂遊び」実技研修

参加園 : 鳥取市幼児保育職員21名



Teachers' impressions.
先生方の感想

Q 子どもの発達・成長に大きな役割を果たす「砂遊び」について学ぶことができたか

全員「はい」と回答

- 砂遊びも発達年齢により、様々な能力を発揮し、力を引き出していくことが分かった。よく観察したり、年齢に合わせた働きかけをしていきたいと思った。
●子ども達と早く砂遊びをしたかった。子どもの姿を観察、一緒に遊ぶことがより楽しみになった。
●砂場遊びの重要性がよく分かった。人数を問わない遊び、年齢を問わない遊びなので乳幼児期から積極的に取り入れていきたい。

- 砂に触れて遊ぶ楽しさを実感できた。素材や道具を使って使い次第でいい作品が出来上がったり、皆で作成感が味わえた。
●用具が少しあるだけでこんなに大きなアートができることに驚いた。
●たくさんの技術を学ぶことができた。簡単なのにすごく工夫したような作品になり、大人もすごく楽しめた。園でも試したり、職員もおしでも広めていきたい。
●集中して没頭する砂遊びの魅力を見直し、園庭での遊びを発展させたい。
●講義にも出てきた「年長児になると砂遊びが停滞する」という状況を打破できそう。

所見

鳥取市の幼児保育課より、職員の自然体験研修を行えないかとお声がけいただいた。前回までは幼保先生向けの砂場教育研修会だが、今回は自然体験研修ということで「鳥取砂丘について」の話とあわせて「砂あそび」についての講演/実技研修を笠間教授に行っていた。砂丘という自然と、砂というツールと、子どもたちと、教育とを掛け合わせ、鳥取ならではの研修にもなったと感じられる。

すなば保育モデル園創出のためのヒアリング

当初は、協力しながら「すなば保育」を実践するためのモデル園を創出する狙いだったが、「すなばようちえん」の価値を再確認。このような活動を園主体で運営できるかどうか、そのサポートやプログラム創出についてのヒアリング内容に変更。

実施日 / 2023年1月~2月

回答 / すなばようちえんレポート参加経験のある13園

できれば、「すなばようちえん」を自分たちで実施してみたいと思う。

はい : 9園 いいえ : 4園

いいえの主な理由
子どもたち一人ひとりの様子や表情など見ながら一緒に楽しめる方が良い為、教える側がいるからこそ子どもと先生も夢中になって遊びきれぬ為、など

自分たちで運営できると思う

はい : 8園 いいえ : 5園

いいえの主な理由
遊び方がわからない、人員不足、予定に組み込めない、時間が無い、交通手段がない、道具がない

所見

今回のヒアリングで分かった事として、項目以外にも親が園への期待が高いことを知った。園での自然体験や誰かと協同で何かをするという様々な経験を積める場は園としても親からも求められていることだった。普段できない特別な体験ができる場としてこの活動を活用している園、この経験を通して「子どもたちの考える力や主体性、協同で何かを創り上げる達成感などを育みたい」と活用している園では、今後我々に求められる内容が違っていた。後者のこどもたちの育ちを見ている園は、こどもたちよりも保育士の学びに力をいれたいと考えているようだった。今後の取組みとしては「すなばようちえんの継続」も行いながら「各園ですなばようちえんの保育者研修会の実施(プレイラーダーの育成)」「砂場あそびの遊び方や声かけなどのプログラム化を行い保育現場や親のすなば遊びに活用していただく」などが考えられる。

砂で創造する豊かな鳥取の未来

私たちが目指す10年後の鳥取の姿

砂が「文化」となり「産業」となる、砂は子どもたちの心や知性を育み、市民の生活を豊かにする可能性をもっている。「砂」でこのまちの未来を創り、豊かで誇れる鳥取を子ども達へ残していきたいと思っています。



Q 鳥取砂丘の成り立ち・自然について学ぶことができたか
全員「はい」と回答

- あまり知らなかった砂丘について知ることができてよかった。
●自然の力はすごいと改めて思った。
●子ども達にもクイズ形式など、興味を持ち、身近に感じられるように工夫したいと思った。

Q これからの自然体験活動や日々の保育で活かしていきたいこと

- 道具、遊具、色々な可能性を感じた。工夫して準備したいと思う。
●秋に自然体験で砂丘に来るので、その自然活動にも活かしていきたい。
●砂遊びが大好きな子ども達なので、今日学んだことを実践してみようと思う。
●大人が夢中で楽しむ姿を見せることも子どもにとっては大きな刺激の一つと感じた。
●子どもの姿を把握したり砂場で育つことを考えながら言葉かけを行っていこうと思う。

すなばようちえんに参加してみた

①園の砂場保育で先生に変化はありましたか?

以前は掘ってばかりだったが、砂を積み上げて遊ばせるようになった。用具や水の使い方、砂場の活用の仕方が充実した。遊びがダイナミックになった。ままごと的に個々のあそびから意図的に共同して大きなものを創ろうとしていた。道具の使い方や声のかけ方が変わった。積極的に子どもと一緒に遊ぶ姿が見られるようになった。

②子どもたちの砂あそびに変化はありましたか?

大きなバケツを探して砂をつめてひっくり返すようになった。底のないバケツで今までにない形を工夫して作りあげる姿がみられるようになった。個の遊びから誰かと一緒に行う砂遊びに変わった。道具を用いてお城のカチ子をつくって遊んでいた。道具を工夫して使おうとしていた。経験したことを試したり、他クラスの子に伝える姿が見られた。自分達で体験したことを再現しようとしていた。砂遊びを楽しむ姿が見られた。

鳥取砂のルネッサンス
- 実行委員会メンバー -

- 委員長 遠藤 理恵【MOTHER'S WEDDING】
副委員長 花井 健太【花輪案】
副委員長 諸吉 稔【株式会社TSP】
副委員長 山根 光彦【(有)アドセンターパル】
事務局長 尾前 康寛【(株)日本海プラザ】
監事 田淵 裕章【(株)田淵金物】

実行委員(50音順)

- 石上 直樹【(株)プロシード】
岡野 巧【鳥取砂丘砂像連盟】
尾坂 亮【株式会社Re:MEMBER など】
岸本 雄司【(一社)すなばスポーツ】
中井 みずほ【Tottori Mama's】
西山 雄一郎【(有)西山家具】
野村 亮介【(株)ノーマンクラフト】
林貴 文【はやし整骨院】
福島 葉子【hair/nico】
村江 利津【山陰海岸国立公園鳥取砂丘ビジターセンター】

オブザーバー 鳥取市役所観光・ジオパーク推進課 松尾 真司/下澤 武志【砂の美術館】
後援/鳥取市

